

たんちやう

発行日

第 9 1 号

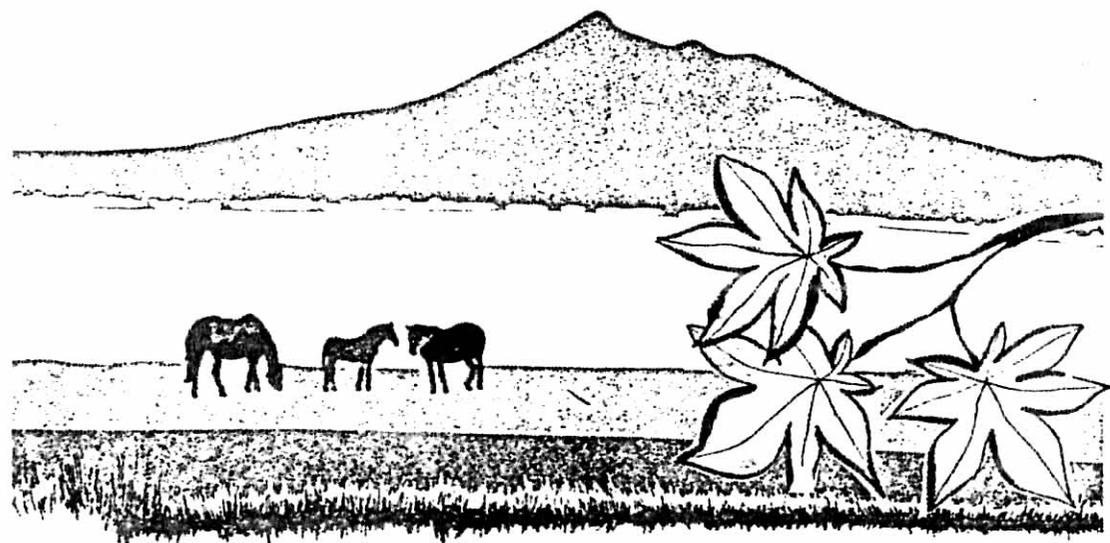
61年10月号

編集発行

釧路地方腎友会

釧路市新富町一番七号

林田クリニック内



※※ 目 次 ※※

P 1 シャント ● シャントと共に10年

P 2 10周年記念式典の開催について

P 3 年賀状の取り組みについて

P 4 腎提供キャンペーンの実施について

P 5 通院交通費の支給と前年度決算について

P 6 透析施設の希望調査結果について

P 7

33

P 8 難病連・全道集会開催・道腎協・運営委員会開催

P 9 ボーリング大会実施される・健康まつりに参加

P 10 道東地区学習交流会開催・花火の販売結果について

P 11 四国にも秋風が……早坂さんより

P 12 クロスワード・パズル ● 会員の動向

シャントと共に10年

鋼腎会 会長 上田 弘

人間の一生の間で『10年という年月』は、『長い』のであろうか……？。

また、『短い』と考えられる部類に入るのであろうか……？。

これは、『過去を考える10年』と、『未来を考える10年』では感じかたが違うように思います……。

また、人それぞれに感じ方が違うと思います。

私が思うのには、透析に入る前の10年は若さもあり、現場での充実した仕事をしていましたので、短かかったと感じています。しかし、透析をするためにシャントを造ってからの10年は、体の調子が思わしくない状態が続いたために、長いようにも感じています。

また、シャントと共に腎友会活動を行なった10年を思うとき、色々な思い出が走馬燈のように浮かび出されて、一瞬に過ぎさったようにも思います。

今年は、鋼路地方腎友会が満10年をむかえます。シャントは、透析患者にとって、透析をするための『命綱』であります。

私も、透析を受けながら、満10年を経過しました。市立鋼路総合病院の伊藤先生に造ってもらったシャントが、最近、調子が悪くなっていますが、今もって使っています。随分ながもちするものですね……。

シャントは、透析に必要な血流量を得るために、動脈と静脈をつなぎ、静脈を動脈化させる重要な役割をしています。

普段、生活をするうえで、シャントを大事

にするよう、病院のスタッフから言われていると思います。

患者さんの中には、何度もシャントを造り直した人がいると思いますが、私は幸運なことに、透析導入時のシャントを今もって使っています。

私が透析導入時に言われたことは、『最初に左手にシャントを造るけれど、それが駄目になったら右手に造ります。両手が駄目になったら、次は足にシャントを造るようになり、両足を使ってしまったら、あなたは終わりですよ』と言われたことを思い出します。

このことから計算しますと、私の場合『片手で10年』も透析をしていますので、まだ片手、両足が残っており、今後30年は生きれる計算になるのではないのでしょうか……？。

今ではシャントも色々なケ所に造ることができ、片方の腕でも何ヶ所にも造れ、シャント造設技術も良くなり、人工血管も使えますので、シャントについては安心してよいのではないのでしょうか。

『シャントと共に10年』が過ぎました。このシャントを大事に使い、更に『今後の10年』に向けて挑戦しましょう。

シャント



鋼腎会 10周年記念式典の開催について

秋も深まり、食べものの美味しい季節がやってきましたが、皆さんお変わりありませんか……。食べ過ぎてはいませんか。

既に、皆さん御存じのこととは思いますが、10月26日(日)に『鋼路地方腎友会10周年記念式典』を開催いたします。

私達、透析患者にとって、10年間を生きることは大変なことと思います。今回、透析歴10年を迎えられる会員の方は、次の10名おります。

葛西 武光	昭和50年 5月27日	透析開始
阿部 英子	昭和50年11月10日	透析開始
今村ツヤ子	昭和50年12月10日	透析開始
大熊 佳子	昭和50年12月15日	透析開始
上田 弘	昭和51年 1月23日	透析開始
横山 光子	昭和51年 4月 4日	透析開始
坂野ミツ子	昭和51年 4月19日	透析開始
千葉 賢蔵	昭和51年 5月 7日	透析開始
忠村 敏	昭和51年 6月29日	透析開始
早坂 要	昭和51年 7月30日	透析開始

この意義ある10周年の年に、『記念誌の発行』と、今回、『記念式典』を開催し、鋼路地方腎友会会員の結束を、さらに強めたいと思います。また当日は、鋼路市よりの『通院交通費』も支給しますので、会員の皆さんは万障お繰り合せのうえ参加されますようお願いいたします。

なお、当日のスケジュールは……

- ・日時：昭和61年10月26日(日曜日)
- ・場所：鋼路市旭町
総合福祉センター

- ・9時30分迄……役員全員集合
- ・10時迄……会員全員集合
- ・10時～11時迄…鋼腎会会合
交通費の支給
- ・11時～12時迄…10周年記念式典
- ・12時～13時迄…昼食および休憩
- ・13時～14時迄…記念講演
- ・14時～15時迄…記念映画上映
- ・15時より……会場後片付
となっております。

会場の準備(イス・机なども)は使用者がすることになっていきますので、前日の25日午後から役員によって段取りすることにしていきます。もし役員以外でお手伝い願える方がありましたら是非お協力願います。

記念式典には鋼腎会が今迄お世話になりました、先生方及び役所関係の多くの方々を案内しております。

昼食は腎友会で用意しますので、当日欠席される会員の方は、各病院の幹事さん迄申し出ておいてください。出席者の最終確認は10月18日となっております。

今回の講演は、一般的なものを計画し、講師には中国に精通されている鋼路教育大学の山田勝久助教授にお願いし、演題は『シルクロード紀行』となっております。

また、今まで鋼路で上映したことのない、『腎移植』に関しての映画を、今回上映することにしていきます。フィルムは、腎臓移植普及会から借用することにしており、『明日への希望…腎移植』と『愛のライフライン…腎移植』の2本を予定しています。

記念講演・映画については、一般の人も充

分理解し、楽しめるものと思いますので、是非お家族・知人もお誘いのうえ、多くの方々が参加されますよう、宜しく願い申し上げます。

式典の進行・段取りについては、鋼腎会役員並びに10周年記念事業の担当役員によって進めますが、会員の皆さんにもお手伝いを

お願いする部分があると思いますので（特に後片付）、協力を宜しく願います。

来賓の方も来られますので、会員の方の『受付』については早め（10時30分まで）に済ませてください。

記念誌等は各病院別に配布しますので、会員の皆さんは役員の方より受取ってください。



年賀状の取組について

月日のたつのは速いもので、つい先日、正月を迎えたと思いましたが、もう早10月となり、今年の年賀状を取組む時期となりました。

会員皆さんの協力によって、今年も実施したいと思います。価格・取扱方法など、全体的に今迄と変わりませんが、見本帳は去年の形式（ページもの）のものと、全部の見本を一枚にしたものを作成します。従って、用意する見本帳の数量が次のとおり変わりますので、お客さんへの配布の際にはその点を考慮に入れるよう、特段の御配慮をお願いいたします。

見本帳が完成して、会員の皆さんに配布できるのは、10月中旬になると思います。

色々と行事が重なり、お忙しい時期とは思いますが、昨年実績に近づけるよう、今迄と同様、協力を宜しく願い申し上げます。

なお、取扱方法の細部的なことは事務連絡でお知らせします。特に、ことし透析に導入した会員の皆さんに、特に期待していますので、宜しく願いいたします。

- ページもの見本帳………800冊
（昨年は1000冊）
- 1枚もの見本チラシ…5000枚
（今年新規に作成）



腎提供キャンペーンの実施について

全国的規模で実施して、今年で6回目の『全国一斉腎提供キャンペーン』の実施方法などは、既に会員の皆さんに事務連絡で通知してあります。

全腎協が結成以来、『腎移植の推進』を厚生省に働きかけ、昭和56年から全腎協が『死体腎移植』を推進するため、独自で全国一斉のキャンペーンを実施してきました。今回は、この活動成果が認められたことと同時に、増え続ける腎臓病患者（特に透析患者）に対する対策として、腎移植を推進しなければならないことを認識した結果、今年度より国（厚生省）が、10月の一ヶ月間を『腎移植推進普及月間』と定め、各関係機関と協力しながら、腎提供の促進をはかり、死体腎移植を推進することになりました。

今回は、このような経緯で実施される関係上、当鋼路地方腎友会としても、鋼路市・鋼路保健所の行政機関に対し、参加要請書を提出（9月19日付）し、お願いしました。また、難病連鋼路支部にも、関係団体として参加要請をしました。

会員の皆さんは、春に実施した全道一斉キャンペーン（6月15日実施）の時と同様に、多勢の参加をお願いいたします。

- 日時：昭和61年10月5日
午前11時～午後1時まで
- 場所：鋼路駅前の『金市館』前
- 内容：参加者はゼッケンまたはタスキをつけ、チラシ・テッシュ・風センを通行人に配付し、また希望者に尿検査紙も同時にわたして、腎臓病の恐ろしさと腎提供思想の啓蒙をはかります。
- なお、当日は昼食時間中となるので、参加した皆さんに、昼食代（500円）を支給します。



みんなの機関紙「たんちょう」に

原稿をお寄せ下さい！

通院交通費の支給と前年度決算について

昭和61年度上期分の通院交通費については、既に該当者に事務連絡で通知してありますが、10月26日の記念式典当日に、支給することにしております。

今年度の鋼路市よりの通院交通費は、対象者の増加、バス料金の値上げ等があり、昨年7月28日の会員による市長との交渉、並びに顧問の高橋宏政市議が粘り強く予算折衝を重ね、また、予算案確定の最終的な段階では、腎友会から上田会長と橋本事務局長が鋼路市長に直接あい、増額をお願いした結果、今年度から増額（昨年度迄年間100万円で、今年度から年間146万円）となりました。

対象者の皆さんには、既に『支給申請書』を差上げてあるので、必ず期限（9月29日）まで各病院の幹事さんに提出して下さい。

- 10月9日までに幹事さんは病院の証明をもらい『上田』まで申請書を届ける。
- 10月15日までに各人別の支給額を決定し、支給認定通知書を対象者に交付する。
- 10月24日までに各人別に支給額を袋詰にする。
- 10月26日10時より総合福祉センターで支給します。

以上となり、支給までに日程が短期間となるので、各部分での作業をスピーディーに処理してもらおうよう、特にお願いし、また、期限は必ず厳守して下さい。もし期限に遅れると、支給出来ないこともあるので、特に注意してください。

なお先日、鋼路市長に提出した、60年度分の決算報告書（写）を、下記のとおり皆さんに報告いたします。

支給までのスケジュールは……

- 9月29日までに各対象者は申請書を幹事さんに提出する。

昭和61年6月23日

通院交通費決算書

鋼路市長
野澤俊之助

鋼路地方腎友会

鋼路地方腎友会
会長 上田 弘

通院交通費の決算報告について

昭和60年10月4日付、鋼路管第526号による、昭和60年度、鋼路地方腎友会（人工透析患者）に対する通院交通費の決算を下記のとおり関係各課を添付のうえ、御報告いたします。

記

1. 決算書
2. 鋼路市人工透析患者通院交通費助成に関する規則
3. 鋼路地方腎友会透析患者名簿
4. 現金通帳（写）
5. 通院費支給申請書（写）・・・上期、下期、各1通
6. 個人別支給明細書（写）・・・上期、下期、各1通

収入の部

60年度上期	500,000	鋼路市より
	4,830	59年度より繰越
	676	利息
上期計	505,506	
60年度下期	500,000	鋼路市より
	362	利息
下期計	500,362	
合計	1,005,868	

支出の部

60年度上期	499,410	受取返金6,070円
申請者70名		下期へ繰越
60年度下期	505,720	残高738円
申請者78名		61年度へ繰越
合計	1,005,130	残高738円
		61年度へ繰越

透析施設の希望調査結果について

今年の7月14日付をもって、遠距離通院透析をされている中標津・別海地区11名と、標茶・弟子屈地区の10名に対して、近隣での透析について属人的に文書によって希望調査をしました。

結果については下記のとおりであります。中標津・別海地区は通院距離が片道100Kmもあり、通院費用も高額となるので近隣での透析を希望する人が10名中7名にもおぼります。

反面、標茶・弟子屈地区においては標茶から釧路まで片道約50Kmと割合に近いこともあり、2名の希望者しかなく、また、弟子屈についても1名(通院距離約90Km)の希望者のみで、透析者の年齢層も高齢なために全体的な希望者が少ない結果となりました。

腎友会としましては、当面、中標津・別海地区で透析を実施してもらえる施設が出来るよう、すでに一部には要請していますが、今後、各方面に働きかけるようにしたいと思います。

記

※中標津・別海地区

- 調査対象者 11名
- 解答者 10名
- 近隣での透析について希望する 7名
- 思案中 2名
- 不明 1名
- どの病院に希望しますか
 - 中標津町立病院 7名
 - (1名は別海と重複)
 - 別海町立病院 2名

(1名は中標津と重複)

- 釧路市立病院 2名
 - 現在の透析回数
 - 一週2回 6名
 - 一週3回 4名
 - 通院距離(片道)
 - 中標津～釧路 93Km 4名
 - 別海～釧路 116Km 4名
 - 別海～根室 55Km 1名
 - 羅臼～釧路 163Km 1名
 - 現在の交通手段
 - 汽 車 2名
 - 汽車とバス 1名
 - バ ス 1名
 - 自分で自家用車 4名
 - (一名は借家と重複)
 - 借 家 3名
 - (一名は自家用車と重複)
 - 通院費用(一ヶ月)
 - 最高52000円～最低21640円
 - 平均 35900円
 - 年齢層
 - 40才代 4名
 - 50才代 4名 平均 54才
 - 60才代 2名
 - 性別
 - 男 性 6名
 - 女 性 4名
-
- ※標茶・弟子屈地区
- 調査対象者 10名
 - 回 答 者 7名
 - 近隣での透析について希望する 3名

希望しない 3名

思案中 1名

• どの病院に希望しますか

弟子屈町立病院 2名

標茶町立病院 1名

• 現在の透析回数

一週2回 2名

一週3回 1名

• 通院距離 (片道)

標茶～釧路 49Km

弟子屈～釧路 72Km

川湯～釧路 91Km

• 現在の交通手段

自家用車 (自運転) 5名

自家用車 (他運転) 1名

• 通院費用 (一ヶ月)

最高35000円～最低6500円

平均 16580円

• 年齢層

20才代 1名

30才代 1名

50才代 2名 平均 62才

60才代 2名

70才代 1名

• 性別

男性 5名

女性 2名

釧路地方腎友会

市町村別・透析患者分布図



道東地区学習交流会開催について

昭和53年から継続して開催してきた、十勝・北見・網走・中湧別・釧路（いわゆる道東）地方の学習・交流会は、今年は十勝地区が担当幹事となり、9月27・28日の両日、阿寒湖畔の『東邦館』で開催された。

釧路地区では、釧路単独の一泊旅行が一週間前にあり、二週間連続の一泊旅行となり、両方に参加した方は多額の出費で、大変迷惑をかけました。

今回の参加者は、十勝24名・北見8名・網走2名、そして釧路は厚岸・根室の各一名が参加して、釧路合計で11名の参加となり、道東地区全体で45名の参加者で、まずまずの成果だったと思います。

今年は、先生の都合がつかず、先生を招いての学習会を実施できませんでした。その変り参加した皆さんで、ビンゴゲーム・ジャンケンゲームを行ない、楽しい一時を過ごしました。

各地方腎友会の状況を聞きますと、悩み・苦勞が多く、その解決策や対策が簡単にみつからず、役員の方は大変苦勞しているようです。この原因は、会員の方がよく腎友会の理解をしないで、非協力という形となり、役員が計画を立てても、協力者不足で実行に移せない、というのが現状のようでした。

来年は北見が担当幹事です。今年、行くことの出来なかった人も、是非来年は参加してみませんか……。

花火の販売結果について

短い夏の一夜を彩る『花火』の販売も皆様の絶大な協力をおもちまして終了いたしました。

この販売活動は、北海道難病連が仕入をし、各患者団体が販売してその会の運営資金確保のために実施しているものであり、今後も継続して販売活動を行ないますので、宜しくお協力をお願いいたします。

今年の販売について報告しますと……

……病院別では……

	個数	販売額
市立病院	75個	82000円
日赤病院	4個	10000円
林田クリ	128個	145000円
協立病院	179個	244000円
根室市立	55個	82500円
計	441個	563500円

となります。

……種類別では……

ジャンボ	123個	307500円
銀河	194個	194000円
チャイルド	124個	62000円
計	441個	563500円

となりました。

この結果、昨年と比べますと、個数で37個増（昨年404個）、販売額で111050円の増（昨年452450円）となり、会員皆様の奮闘した成果があらわれております。

釧路四病院の利益（86130円）については、釧路腎会の運営資金として活用させていただきます。

また、根室市立の利益（14600円）については根室の運営資金として使用いたします。

厚岸では難病連厚岸支部と協力しながら販売活動を実施しました。

御苦勞様でした……。

日本列島は縦に長いせい2千Kmも離れればいは続くそうです。
ると気候・風土・習慣も変わってくる。

私はいま、四国の香川県に来ており、鋼路から約2千Kmある。四国の面積は、北海道の4分の1。日の出・入が鋼路より約1時間半位遅い。従って、夜の星『北斗七星』の位置が少々変る。

雨量の少ない地方です。水を溜める為に至るところに『溜池』がある。香川県だけでも100を越えるという。この中には弘法大師が作ったといわれる『満濃池』がある(一番大きい)。

昔は水の権利を得るのに、また水をもらう順位等で血み泥の争いがあったそうです。今もその取り扱いについては神経をとがらしているそうです。

雨量の少ない所から『塩田の地』として栄えた所でもあります。8月いっぱいには良く照りつけました。30度~35度を上下し、外に立っていると『サウナ』に入っているようなものです。直射日光を受けようものなら肌がピリピリします。直射日光を計ってみましたら43度もありました。あまりの暑さに水筒を持参する小学生が多くみられます。病院迄は10Km、バイクを使用します。時速40~50Kmと出しても涼しさを感じません。冷房の効いた病院に着いた時にはほっとします。夜でも28度~30度もあるので敷布団と寝巻だけ、クーラーを最低にして寝ます。汗をかくので『寝ござ』を敷布団の上に敷いて寝ます。『ベト』つかず気持がよいです。

9月に入ってからは急に涼しく、秋を思わせる風が吹くようになりました。でも日中は相変わらず真夏の延長(残暑)で、9月いっ

(病院での事を一寸お話ししましょう。)

透析患者は20人で全員が院内発生患者です。器械は15台あって単独で使用出来るもの2台、他はバイカーボ方式です。夜間透析も働く人の為に今年9月1日より始めました(17時より)。

テクニシャン(男)2名独身、看護婦さん5名おりまして全部奥様。担当は泌尿科で2人の先生が交互に診てくれます。

食事管理は、お年の方が多いため思うように勉強(カロリー計算)を進められないのが現状です。先生は『透析だより』を時折発行し、懸命です。

透析中に出てくる食事ですが、鋼路のような美味しい魚は出てきません。美味しそうなのは高価で、他は塩物です。

先日は『お稲荷さん』が出てきました。こちらの『揚げ』は三角に切ります。御飯は五目ずしに乗せるようなものを、みじん切りにして混ぜ入れます。北海道で言うなら『五目稲荷』という所でしょう。店頭にあるのも同じで、三角の五目稲荷が本当の御稲荷なのです。煮付等に使用する大きな三角揚げはこちらにありません。四角か長方形です。コンニャクは黒色、北海道のように白いのはありません。

こちらで代表的な美味しい物と言え第一に『鯛の塩焼』です。鋼路で言うなら毛蟹のような存在です。

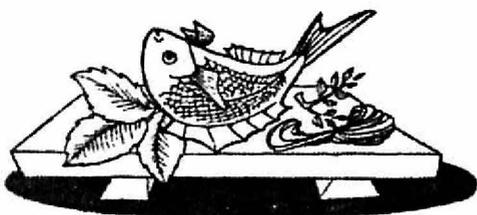
第二は、小豆島で出来る『手延ソーメン』です。第三は、『さぬき手打うどん』です。お店は至る所にあります。そば屋とラーメン屋は探さなければ見当たらない程です。

こちらではラーメンの事を「そば」といい、普通、私達が言っている「そば」を『日本そば』と言います。

この便りが皆様の目に届く頃は鋼腎会の行事も一番忙しい時でしょう。一人でも多くの方が参加され、行事が成功しますようお願いしております。

今日はこの辺で、お体を大切に……。

『さようなら』 9月11日 早坂 記



※クロスワード・パズル※

8月号の正解『カイスイヨク』で、正解者9名（全応募者）でした。全員に記念品を贈呈いたします……。

当選者は下記の方々です……。

厚岸町立病院の佐田俊夫さん、林田クリニックの林 喜久雄さん、佐藤俊幸さん、渡辺喜久さん、荒 藤年さん、本間考司さん、忠村 敏さん、協立病院の宇井美江さん、菊池はつえさん、以上です。

今月号のクイズはお休みします……。

『私が信じる一村一品』シリーズは今月お休みいたします……。

会員の動向

◎新患者

- ・夏井美保子

鋼路市

波谷敏彦
屈

弟子

- ・秦野貴之

鋼路市

- ・小椋 東

厚岸郡

- ・斉藤文雄

鋼路市

◎変更事項

- ・江村 彰・根室市立・61年9月15日死亡

- ・西 弘・日赤病院・61年3月25日より根室市立へ

- ・田村勝代・日赤病院・61年9月22日より根室市立へ

◎新会員

- ・小椋 東・厚岸町立・61年 8月より

- ・斉藤文雄・市立病院・61年 9月より

- ・秦野貴之・市立病院・61年 9月より

- ・夏井美保子・協立病院・函館で入会済

◎脱会者

- ・小野次男・厚岸町立・61年 4月より

